

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	1 誰もが文化・スポーツに触れ合える機会づくり					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	34.7%	27.5%	38.6%	25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	5,700人	13,052人	16,958人	22,000人
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	37.6%	30.9%	41.0%	50.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	72,300人	51,248人	56,147人	79,783人	78,000人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	91.0%	92.9%	92.5%	90.0%

中項目	1 時代の変化に対応した文化に触れる機会づくり	分野計画参照ページ	P12
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	・団体主催や市との共催イベントを開催し、参加者数は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、61人が出展した。来場者数は270人であった。（前年度は中止） ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、13組（前年度比-1組）が出演した。来場者数は約300人（前年度比±0人）であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、232人（前年度比+34人）が出場・出展した。来場者数は約800人（前年度比+80人）であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、8組が出演した。来場者数は約200人であった。（前年度は中止） ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、16組（前年度比±0組）が出演した。来場者数は約180人（前年度比+50人）であった。	・6月の文化連盟祭とわがままコンサートの日程が重複した。それぞれの集客につなげ、事業効果を高めるため、できるだけ重複しないように組む必要がある。 ・集客について、少しづつコロナ前の状況に近づきつつあるが、市のラインなどのツールも活用し開催周知の促進に努める。	
音楽祭開催事業 文化スポーツ課	・10～11月に文化ホールで摂津音楽祭（リトルカメリアコンクール）を開催し、予選に参加した52組（前年度比-12組）のうち、18組（前年度比-3組）が本選に参加した。来場者は延べ365人（前年度比-8人）であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、7人（前年度比-4人）が参加した。 ・12～1月にリトルカメリアミニコンサートを小学校6校（前年度比-3校・-1園）で実施し、延べ11人（前年度比-14人）が出演した。鑑賞者数は延べ1,046人（前年度比-558人）であった。 ・12月に安威川公民館でフレッシュコンサートを開催し、5人（前年度比-3人）が出演した。来場者数は約200人（前年度比+50人）であった。	・摂津音楽祭（リトルカメリアコンクール）の予選参加者数が前年度比で、10組以上減少した。参加者ごとに理由はあると思うが、大阪の他のコンクールと日程が重複したことも要因の一つと考えられる。 ・リトルカメリアミニコンサートについては、開催は予定していたが、講師の体調不良や学校の都合のため、中止になった学校が2校あった。また、出演者数の減少は、令和4年度は1回に最大4人の講師が派遣されたが、令和5年度は1回に、1人または2人の講師であったためである。（楽器や演奏内容により演奏人数も変わるため）	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・8つ（前年度比±0）のイベントを開催し、合計で3,261人（前年度比+717人）が参加した。 ■伊沢拓司講演会(386人) ■チャリティー上映会「海難1890」(164人) ■万作・萬斎狂言の会(446人) ■ひなどり発表会(293人) ■鼓童ワンアースツアー(438人) ■三山ひろしコンサート(817人) ■リトルカメリア推薦コンサート(307人) ■大谷圭介.バリトン・リサイタル(410人)	・引き続き、トレンドにアンテナを張り、魅力的なイベントを開催することで、多くの市民が気軽に文化に触れられる機会を提供していく。 ・入場料について、事業内容に見合った金額を設定するとともに、市外と市内の価格を変えるなど、市内の来場者数増加のための取組が必要である。	
ちびっこ劇団育成事業 文化スポーツ課	・令和4年度に新規加入の呼びかけを中止したため、令和5年度は、配布対象を拡大し、新1年生と新2年生へ加入案内チラシを配布して参加を呼び掛けた。 ・加入者数は新1年生4人、新2年生4人の合計8人（前々年度比-2人）となった。 ・9月10日に文化ホールにて、2年ぶりに演劇発表会を行い、293人が来場した。 ・3月24日に文化ホールにて行われた摂津市民演劇祭に2年ぶりに参加し、320人を動員した。	・新1年生と新2年生を対象に加入案内を行ったため、加入者数全体は若干減少するに留まっている。 ・今後も、加入状況により、適宜新規募集対象を検討していく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類から5類に移行したこと等により、中止となっていた練習・発表会等を行えた。	
公民館講座開催事業 生涯学習課	・市立公民館において、文化・芸術をテーマにした講座（コンサートや文学講座等）を延べ46回（前年度比-12回）開催し、延べ824人（前年度比+95人）が受講した。	・音楽コンサートやマジックショー、ライブペインティング等を鑑賞する講座の参加者数が多い傾向にある。 ・引き続き、集客につながる内容の工夫や見直しを行い、文化に触れる機会を提供する講座を実施する。	

こども展覧会開催事業 文化スポーツ課	・10月18日～22日の間に、コミュニティプラザで、市内大学の保育学科の学生と共同でこども展覧会を開催した。 ・体験教室では、昨年好評をいただいていたサコッシュづくりを継続して実施し、80名の参加があった。（前年度比+28人） ・1,127点（前年度比+37点）の出品があり、1,686人（前年度比+197人）の来場者があった。	・個人の出品については、LoGoフォームからの申し込みも可能としたことで、出展数の増加（+37点のうち13点）につながった。また、出展数が増加したことで、来場者数の増加にもつながった。 ・更なる出展数の増加に向け、QRコードを活用した案内文書の送付と電話による案内も実施していく。
美術展開催事業 文化スポーツ課	・10月に「摂津市美術展」を開催し、作品出品数は251件（前年度比+30件）、入場者数は1,076人（前年度比+4人）であった。 ・4月には摂津市美術展の審査員を務める、摂津市美術協会の会員が作品を発表する「美術協会展」を開催し、作品出品数は58件（前年度中止）、入場者数は270人であった。	・より多くの市民が文化芸術活動に参加できる環境を整備するため、左に挙げた「市美術展」や「美術協会展」の開催をより多くの市民に知ってもらえるよう、イベントナビへの掲載や、直近で開催されるイベントでのチラシ配布等による周知についても検討する。
演劇祭開催事業 文化スポーツ課	・文化ホールで市民演劇祭を開催し、6団体・118人（前年度比+2団体・+26人）が出場した。来場者は480人（前年度比+180人）であった。 ・大阪人間科学大学の学生の協力により、市民演劇祭の司会を担ってもらった。	・摂津市演劇協会の所属団体以外で、一般団体の参加が1団体あった。過去にも一般団体が演劇祭参加をきっかけに演劇協会へ加入し、演劇振興に繋がったことがある。演劇祭参加団体を増やし演劇振興に繋げるため、新たな手法を検討する必要がある（例：近隣市のホールに募集要項を配架してもらう等）。 ・来場者が前年度比で大幅増加した要因は、ちびっこ劇団「ひなどり」の復帰によるものである。
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行いながら配架した。 ・指定管理者が主体となり、市民や文化関係団体と「南千里丘涼み会」「2023南千里丘クリスマスバル」「ロビーコンサート」等のイベントを開催した。 ・広報紙や各施設のホームページに加え、SNSで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。	・南千里丘タ涼み会は平日から土曜日に開催曜日を変更したことで、コロナ前と比較して数倍の市民の来庁があり、大変な賑わいがあった。開催日等、指定管理者と検討し今後も継続して実施する。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・SNSは定期的に更新できていることから、引き続き継続して投稿を行うことで、フォロワーが増えることを期待している。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行いながら配架した。 ・「のびのびストレッチ～体のバランス～」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計43回（前年度比+7回）開催し、計4,833人（前年度比+1,790人）が参加した。 ・別府コミュニティセンターまつり開催し、初めての取組として、「走るデバ地下、お菓子の移動販売車」を招致した。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。	・講座参加者に対するアンケート結果を元に、満足度が高いと判断し、例年同様の講座を実施しているが、稼働率の向上を図るため新たな講座を企画することを検討する。 ・講座参加者の増加の要因は、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、人の動きが活発になったためと分析する。 ・別府コミュニティセンターまつりの「走るデバ地下、お菓子の移動販売車」など新たな取組は継続して取り入れていく必要がある。 ・ホームページは開設しているが、SNSを活用できていないことから、活用を促す必要がある。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。

正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	・市民公益活動に関するチラシを配架した。配架にあたっては、法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行った。 ・「ましたの楽市」や「たそがれコンサート」に参画した。たそがれコンサートにおいては、正雀市民ルームがミニコンサート会場になるなど、職員が運営に携わった。 ・「ハッピーヨーガ教室」等、7講座（前年度比-2講座）を開催し、延べ1,458人（前年度比+310人）が参加した。 ・旧市民サービスコーナーのスペースに、高齢者が手作りした雑貨や子どもが描いた絵を窓際に飾ることで、集客のきっかけづくりを行った。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。	・稼働率の低い貸室（調理室）の活用及び若年齢層の利用促進を図る。親子で参加できる料理教室のような自主事業の企画を指定管理者と協力して取り組む。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。 ・たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設をPRしていく。										
公民館まつり事業 生涯学習課	・公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）の日頃の活動の成果を展示・発表する機会として、全ての公民館において公民館まつりを開催した。 ・各公民館まつりの展示・発表団体数は、次のとおりであった。 ※コロナ禍前の令和元年度との比較 <table><tr><td>■味生公民館</td><td>24団体（令和元年度比-2団体）</td></tr><tr><td>■鳥飼東公民館</td><td>19団体（令和元年度比-10団体）</td></tr><tr><td>■千里丘公民館</td><td>15団体（令和元年度比-4団体）</td></tr><tr><td>■安威川公民館</td><td>26団体（令和元年度比-7団体）</td></tr><tr><td>■新鳥飼公民館</td><td>26団体（令和元年度比-8団体）</td></tr></table>	■味生公民館	24団体（令和元年度比-2団体）	■鳥飼東公民館	19団体（令和元年度比-10団体）	■千里丘公民館	15団体（令和元年度比-4団体）	■安威川公民館	26団体（令和元年度比-7団体）	■新鳥飼公民館	26団体（令和元年度比-8団体）	・コロナ禍前の公民館まつりと比べ、公民館登録クラブが減少していることもあり、展示・発表する団体が減少傾向にある。 ・公民館まつり実行委員会や公民館利用団体と連携し、日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである公民館まつりを引き続き実施する。
■味生公民館	24団体（令和元年度比-2団体）											
■鳥飼東公民館	19団体（令和元年度比-10団体）											
■千里丘公民館	15団体（令和元年度比-4団体）											
■安威川公民館	26団体（令和元年度比-7団体）											
■新鳥飼公民館	26団体（令和元年度比-8団体）											

中項目	2 生涯にわたって参加できるスポーツ活動の推進		分野計画参照ページ	P14
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察		
スポーツ教室振興事業 文化スポーツ課	・各種スポーツ教室を313回(前年度比-29回)実施し、延べ6,104人(前年度比-228人)が参加した。	・回数と人数が減っている要因としては、卓球教室について、最少催行人数以下のため中止となったことと、サッカー教室が天候不良により数回中止となったことがあげられる。		
地区市民体育祭実施補助事業 文化スポーツ課	・9～11月に全11地区の内、7地区が各小学校を会場として開催し、延べ参加者数は4,270人であった。（前年度は全地区で中止）	・各地区への開催の可否の調査の際に「開催しない」または「検討中」とした場合の開催の支障となっている課題等があれば記入いただくよう様式を変更し、課題の把握に努めている。多くは、高齢化や実行委員のなり手がいないなどの理由である。理由について確認し、他地区の事例や市の貸出備品を含めた競技の紹介や助言などを行い、全地区での開催を目指して支援していく。		
市民ニューススポーツのつどい事業 文化スポーツ課	・スポーツ推進委員を中心に、ニューススポーツのつどいとして大会等を実施し、参加者は以下のとおりであった。 ■ポッチャ大会 85人(前年度比+31人) ■スティックリング大会 79人(前年度比+11人) ■ゲートゴルフ大会 66人(前年度は雨天のため中止) ■ニューススポーツ体験会(3回) 計105人(前年度比+7人)	・市民ニューススポーツのつどい事業への参加人数は年々増加しており、特にポッチャについては、東京オリンピック・パラリンピック記念事業の一環として実施した体験会后、市の備品として用具を購入し、貸出を始めたことで高齢者の利用が増えた。 ・今後、高齢者の人口が増えることを踏まえ、年齢に関係なく誰もが気軽に楽しめるスポーツの普及・定着をこれまで以上に図っていく必要がある。		

健康せつつ21推進事業 保健福祉課	・体操の動画を継続的にホームページに公開するだけでなく、ホームページを見ることができない方や地域の方が講座等で使用するためにDVD・CDを46枚配布した。 ・2月に健康づくり推進リーダー養成講座を実施した。8人の参加があり、4部作体操をもとにした実技、フレイルや正しい歩き方について講義と実技、健康づくりグループの活動紹介などを行った。 ・地域ごとに実施している高齢者が集うリハサロンでフレイルについて講話を実施した。	・4部作DVD・CDは年々配布数が減少している。（R3＝90枚R4＝60枚R5＝46枚貸出開始したH29＝514枚）DVD・CDなどの、ディスクを使用する人が減少していることも要因であると考ええる。 ・動画を公開しているURLを、二次元コード、市役所設置の広告付き窓口案内システム、公共施設設置のデジタルサイネージ等において配信するほか、LINE等のSNSを活用した周知を実施する等、様々な年代に対して周知していく。 ・2月に実施した健康づくり推進リーダー養成講座の参加者からは、講座が役立つという回答が多かった。 ・リハサロンを活用し、フレイル予防について引き続き周知していく。
まちごとフィットネスヘルシータウン事業 保健福祉課	・うきうきせつつウォーキングを8回（前年度比＋1回）開催した。参加者は529人（前年度比＋241）であった。 ・7月のウォーキングは暑さ指数が高く熱中症警戒のため中止した。熱中症予防のため、令和6年度は8月・9月に加えて7月もウォーキングを実施しない方針を決めた。 ・歩くことでポイントを獲得し、ポイントに応じて、参加賞や抽選で商品が当たる健幸マイレージを引き続き実施し、新規参加（登録）者が605人（前年度比＋117人）となり、健康マイレージの事業参加者は合計2,787人となった。 ・6か月以上のデータ未送信者（登録者のうち健幸マイレージを活用していない者等）を抽出し、継続意向の案内はがきを送付した。退会を希望された者、継続意向の返信がなかった428人は規約にのっとり、年度末に退会手続を実施した。	・うきうきせつつウォーキング参加者の増加要因として、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行されたことが考えられる。 ・熱中症予防のため、7・8・9月はウォーキングの開催はしないこととなったが、ウォーキング休止期間に、ウォーキングに代わる健康づくりについて、実施団体と検討していく。 ・10か所のウォーキングコース及び108か所の健康遊具の認知度向上や、利用促進に取り組む。 ・健幸マイレージの新規参加（登録）者は前年度より増加しているが、若年世代の参加者が少ない状況である。若年世代の参加者はアプリ利用者が多いが、歩数データ送信率が低い状況であり、プッシュ型の通知等、状況改善に向けて取り組んでいく。
総合型クラブ支援事業 文化スポーツ課	・各種スポーツ教室の開催にあたり必要な会場について、優先的に先押さえを実施して教室運営を支援した。	・引き続き総合型地域スポーツクラブの教室事業、イベント事業、受託事業等について、会場確保、広報等様々な支援の可能性を検討していく。

中項目	3 高齢者、障害者、子育て世代等に対する機会の拡充	分野計画参照ページ	P16
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・ホール入口及び展示室からロビーへのスロープに設置している手摺を鉄棒のようにして子どもたちが遊び、危険なため空間にパネルを設置した。	・引き続き理施設利用者アンケート等を踏まえ、ソフト・ハードの両面で、誰もが利用しやすい施設となるよう配慮や対策を行っていく。	
市立ふれあいの里運営事業 障害福祉課	・身体障害者・老人福祉センターにおいて、障害者や高齢者を対象とした事業を実施した。 ■利用者数：主催事業 727人（前年度比＋8人） 同好会 3,111人（前年度比－246人） 個人・団体 1,124人（前年度比＋292人） ・身体障害者・老人福祉センターの主催事業として、障害者や高齢者を対象に健康体操やカラオケ教室等を実施し、合計67人が受講した。	・開催方法や内容を研究し、利用者の増加に努める。	

老人クラブ活動事業 高齢介護課	・3年ぶりに管外視察を含めた会長研修会を開催した。また4年ぶりに市と共催で老人福祉大会を開催した。その他にもグラウンドゴルフ大会、スカイクロス大会等のスポーツ大会を開催した。 ・地域市民活動に従事している老人クラブ連合会役員と連携し、以下のとおり団体運営を補助した。 ■役員会における協議やスポーツ大会など、感染症対策を講じながら工夫して健康増進事業を再開した。 ■春と秋にグラウンドゴルフ大会を開催し、春は107人（前年度比+6人）、秋は107人（前年度比+13人）が参加した。 ■部会活動を除く、書類作成と書類管理、連絡調整を行った。 ・会員数は1,946人（前年度比-191人）、クラブ数は47クラブ（前年度比-3クラブ）と減少している。 ■広報（12月号）にて、市老人クラブ連合会について周知した。	・コロナ禍以後、イベント等、活動規模を縮小している取組もあるため、積極的な老人クラブ活動が行えるよう、事務局としてサポートするとともに、必要に応じて情報提供する。 ・新規会員を確保するため、広報紙への掲載等による情報発信や老人クラブ加入に資する取組を支援する。
障害者福祉関係団体補助事業 障害福祉課	・障害者団体に対し、文化交流や健康増進などの各種活動に補助金等を支援した。	・引き続き、各種活動等の企画や周知により、障害のある方が参加しやすい環境をつくり、障害者の社会参加を促進する必要がある。
国際交流事業 自治振興課	・摂津市国際交流協会において国際交流協会活動報告紙を発行した。 ■SAIEレポート（年間報告）：発行部数1,200部 ■かわら版：発行部数3,600枚・発行回数4回／年	・国際交流協会活動報告紙は活動内容が分かりやすく整理されていることから、今後も継続して発行を行う必要がある。 ・国際交流協会活動報告紙に加え、イベント情報サイトを積極的に活用し、市民に周知を図っていく。
市民ニューススポーツのつどい事業 文化スポーツ課	・高齢者、障害者も含め誰もが簡単に楽しめるスポーツであるボッチャの大会を昨年に引き続き実施。85人（前年度比+31人）が参加し、着実に競技のすそ野を広げることができている。	・令和5年度は障害者施設や支援学校、また老人クラブ通じた募集告知を行うなど、令和4年度には実施していなかった施設への周知を行ったことで参加人数の増加があったと考察している。引き続き、来年度も同様に周知を行うことでより多くの市民に競技を体験してもらえるよう働きかける。
市民活動支援事業 自治振興課	・市民公益活動団体交流会として、「会ってしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回（前年度比±0回）開催し、延べ98人（前年度比-18人）が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 ・商工会と共催で、「人と組織と地域の成長」をテーマに、グループワークを交えたセミナー及び交流会を実施し、21人（前年度比-13人）が参加した。	・市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。

分野	教育	施策	文化・スポーツ			
分野計画名称	文化振興計画				行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	2 活動者・団体が交流・協働するための仕組みづくり					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	34.7%	27.5%	38.6%	25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	5,700人	13,052人	16,958人	22,000人
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	37.6%	30.9%	41.0%	50.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	72,300人	51,248人	56,147人	79,783人	78,000人
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	20回	18回	22回	29回	25回
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	91.0%	92.9%	92.5%	90.0%

中項目	1 活動者・団体の交流支援	分野計画参照ページ	P18
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	・文化振興計画推進審議会において、活動団体や学識経験者等が交流し、市内の文化・スポーツ活動の推進に向けて意見交換をした。	・引き続き本市の文化及びスポーツの振興に向け、様々な立場から多角的な視点での意見を伺い、検討・推進していく。	
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	・三島地区ふれあいスポーツ交流大会（令和5年度は島本町にて実施）で実施されたスリータッチビーチボールに摂津市民の参加もあり、三島地区の自治体で交流を図ることができた。	・コロナ禍が明け、スポーツを通して市をまたいで市民同士が交流できる機会が創出できるようになり、市民も広く交流を求めるマインドが醸成されてきている。 ・令和6年度には年間事業の参加市民に三島交流大会が行われることを周知するなど、市外の活動者・団体と交流できる機会があることを周知していく。	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・4月から市長杯総合スポーツ大会を開催し、14種目の競技、延べ2,047人が参加した（前年度比+53人）。	・全体的には参加者は増えているが、参加人数が伸び悩む競技もあるため、参加資格等を検討する必要がある。	

中項目	2 市民参画による協働の推進	分野計画参照ページ	P19
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
市民活動支援事業 自治振興課	・自治連合会・老人クラブ連合会・民生児童委員協議会・社会福祉協議会と市で構成する「つながりのまち摂津連絡会議」において、つながりの大切さを伝える活動として、市役所で啓発チラシの配架やのぼり旗の設置を行うとともに、JR千里丘駅ガード上の歩道橋及び鳥飼八防歩道橋に横断幕を掲示した。 ・庁舎前での街頭啓発や、参画団体が共通して持つ課題をテーマに講師を招く地域交流研修会を実施した。 ・庁内で地域コミュニティの活性化に向けた条例制定検討委員会を立ち上げ、（仮称）摂津市協働のまちづくり推進条例（素案）を作成した。	・「つながりのまち摂津連絡会議」での街頭啓発や、地域交流研修会を契機に、地域コミュニティ団体の活動の活性化を図るとともに、地域コミュニティの連携をさらに広げる必要がある。 ・コロナ禍で停滞してしまった市民公益活動団体の活動を活性化させていく必要がある。 ・つながりのまち摂津連絡会の活動内容のPR方法について検討する。 ・（仮称）摂津市協働のまちづくり推進条例につなぐつながりのまち摂津連絡会議に関する内容を盛り込むことで、方向性等について並行して検討を行う。	
文化振興事業 文化スポーツ課	・文化振興計画推進審議会において、活動団体や学識経験者等が交流し、市内の文化・スポーツ活動の推進に向けて意見交換をした。 ・上記のつながりで、演劇協会が主管する市民演劇祭の司会者として、大阪人間科学大学の学生を紹介してもらい事業への協力を得た。	・引き続き本市の文化及びスポーツの振興に向け、様々な立場から多角的な視点での意見を伺い、検討・推進していく。	
摂津ふれあいマラソン大会事業 文化スポーツ課	・大会運営補助における市民ボランティアの公募を行い、計8人（前年度比±0人）の市民が参加した。	・市内活動団体（老人クラブ等）への周知活動に努め、参加人数を向上させる必要がある。	

公民館まつり事業	・公民館の利用団体（公民館登録クラブ等）の日頃の活動の成果を展示・発表する機会として、全ての公民館において公民館まつりを開催した。 ・各公民館まつりの展示・発表団体数は、次のとおりであった。 ※コロナ禍前の令和元年度との比較 ■味生公民館 24団体（令和元年度比-2団体） ■鳥飼東公民館 19団体（令和元年度比-10団体） ■千里丘公民館 15団体（令和元年度比-4団体） ■安威川公民館 26団体（令和元年度比-7団体） ■新鳥飼公民館 26団体（令和元年度比-8団体）	・コロナ禍前の公民館まつりと比べ、公民館登録クラブが減少していることもあり、展示・発表する団体が減少傾向にある。 ・公民館まつり実行委員会や公民館利用団体と連携し、日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである公民館まつりを引き続き実施する。
生涯学習課		

分野	教育	施策	文化・スポーツ			
分野計画名称	文化振興計画				行政経営戦略 参照ページ	P91
施策の展開（大項目）	3 文化・スポーツの振興を支える人づくり					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	34.7%	27.5%	38.6%	25.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	5,700人	13,052人	16,958人	22,000人
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	91.0%	92.9%	92.5%	90.0%
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	37.6%	30.9%	41.0%	50.0%
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	72,300人	51,248人	56,147人	79,783人	78,000人
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	20回	18回	22回	29回	25回

中項目	1 次世代アーティスト・アスリートを育む文化・スポーツ環境の更なる拡充	分野計画参照ページ	P20
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
こども展覧会開催事業 文化スポーツ課	・10月18日～22日の間に、コミュニティプラザでこども展覧会を開催し、1,127点（前年度比+37点）の出展があった。	・個人の出展については、LoGoフォームからの申し込みも可能としたことで、出展数の増加（+37点のうち13点）につながった。また、出展数が増加したことで、来場者数の増加にもつながった。 ・更なる出展数の増加に向け、QRコードを活用した案内文書の送付と電話による案内も実施していく。	
音楽祭開催事業 文化スポーツ課	・10～11月に文化ホールで摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）を開催し、予選に参加した52組（前年度比-12組）のうち、18組（前年度比-3組）が本選に参加した。来場者は延べ365人（前年度比-8人）であった。また、本選の審査待ち時間にチャレンジコンサートを実施し、7人（前年度比-4人）が参加した。 ・12～1月にリトルカメラリアミニコンサートを小学校6校（前年度比-3校・-1園）で実施し、延べ11人（前年度比-14人）が出演した。鑑賞者数は延べ1,046人（前年度比-558人）であった。 ・12月に安威川公民館でフレッシュコンサートを開催し、5人（前年度比-3人）が出演した。来場者数は約200人（前年度比+50人）であった。	・摂津音楽祭（リトルカメラリアコンクール）に出場や受賞した若手音楽家の育成につながる出口や発表の場として、現在ミニコンサートを実施しているが、実施した学校等からは、子どもたちが生の音楽や楽器に触れる機会として好評であり、引続き実施していく。	
ちびっこ劇団育成事業 文化スポーツ課	・令和4年度に新規加入の呼びかけを中止したため、令和5年度は、配布対象を拡大し、新1年生と新2年生へ加入案内チラシを配布して参加を呼び掛けた。 ・加入者数は新1年生4人、新2年生4人の合計8人（前々年度比-2人）となった。 ・9月10日に文化ホールにて、2年ぶりに演劇発表会を行い、293人が来場した。 ・3月24日に文化ホールにて行われた摂津市民演劇祭に2年ぶりに参加し、320人を動員した。	・新1年生と新2年生を対象に加入案内を行ったため、加入者数全体は若干減少するに留まっている。 ・年度により加入者数にばらつきがあり、令和6年度は2人と大幅に落ち込んでいる（5月13日時点）。今後も、加入状況により、適宜新規募集対象を検討していく。 ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の取り扱いが2類から5類に移行したこと等により、中止となっていた練習・発表会等を行えた。	
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・9月3日に第一生命グループ女子陸上競技部0Gによる走り方教室を実施し、小中学生55人の参加があった。 ・12月23日に福士加代子さんによるランニング教室を実施し、小中学生75人の参加があった。	・走り方教室、ランニング教室共に募集定員があったが、応募者多数で抽選となるほど人気であった。また、こどもたちは、アスリートから走り方の技術だけでなく、考え方も教わるのができたことが良かった点である。今後もアスリートスポーツ教室を取り入れていく。	
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	・「ハッピーヨーガ教室」等、7講座（前年度比-2講座）を開催し、延べ1,458人（前年度比+310人）が参加した。	・講座参加者の増加の要因は、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、人の動きが活発になったためと分析する。	
公民館講座開催事業 生涯学習課	・市立公民館で活動する子どもたちが日頃の活動の成果を展示・発表する「キッズなかよし発表会」を摂津市民文化ホールで実施し、展示5団体（前年度比-1団体）、発表7団体（前年度比+1団体）が参加した。	・発表団体7団体のうち、ダンス演技は6団体、バレエ演技は1団体であり、ダンスを日頃活動する団体が多い傾向にある。 ・子どもたちが日頃の活動の成果を展示・発表する機会のひとつである「キッズなかよし発表会」を引き続き実施する。	

文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・2月に文化ホールで小学生を対象に、「文化ホールバックヤードツアー～ホールってどんなところ？」を開催し、普段見ることのない裏側の施設・仕事を紹介した。照明や音響機器に実際に触れてもらう体験を提供した。同日2回実施し、30人（前年度比+9人）が参加した。	・操作の紹介のみでなく、実際に機械に触れ、操作してもらうことで、どのような舞台演出となるのか、ちびっこ劇団ひななどの協力のもと紹介することができ、興味をもってもらえるよう工夫できた。引続き興味を引く内容を検討し、子どもや若い世代に足を運んでもらえるよう工夫する必要がある。
文化財保護事業 生涯学習課	・文化財を適切に保護するとともに、摂津市の歴史を後世に伝えるため「ふるさと摂津講座」を開催し、31人（前年度比-24人）が参加した。	・「ふるさと摂津講座」の参加者が減少しているため、講座以外に歴史に関するフィールドワークを取り入れるなど、講師である「ふるさと摂津案内人」と連携し、講座内容を検討する。
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	・「のびのびストレッチ～体のバランス～」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計43回（前年度比+7回）開催し、計4,833人（前年度比+1,790人）が参加した。	・講座参加者に対するアンケート結果を元に、満足度が高いと判断し、例年同様の講座を実施しているが、稼働率の向上を図るため新たな講座を企画することを検討する。 ・講座参加者の増加の要因は、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、人の動きが活発になったためと分析する。

中項目	2 文化・スポーツを支える人材の育成と団体支援・ノウハウ継承	分野計画参照ページ	P22
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	・各団体主催のイベント実施を支援し、参加者数は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、61人（要項でカウント）が出展した。来場者数は270人であった。（前年度は中止） ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、13組（前年度比-1組）が出演した。来場者数は約300人（前年度比±0人）であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、232人（前年度比+34人）が出場・出展した。来場者数は約800人（前年度比+80人）であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、8組が出演した。来場者数は約200人であった。（前年度は中止） ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、16組（前年度比±0組）が出演した。来場者数は約180人（前年度比+50人）であった。	・コロナ禍が明け、左記のすべてのイベントを通常通り開催することができた。 ・集客についても少しづつコロナ前の状況に近づきつつあるが、引き続き開催周知の促進が必要である。 ・引続き団体主催（市との共催を含む）の事業や活動を支援し、団体が自主的な活動を広げられるようにエンパワメントする必要がある。	
全国大会等参加補助事業 文化スポーツ課	・少林寺拳法、空手、レスリング、テニス、グラウンド・ゴルフ、キンボール、チアリーディング、アルティメット、柔道、ゴルフ、ホッケー、野球、スケートボードの大会において、激励金を32件（前年度比+21件）交付した。	・コロナ禍で中止となっていた大会等が再開されたこともあり、申請実績は伸長している。 ・本事業の認知度も高まっており、ホームページや市立の文化・スポーツ施設での掲載効果もあると推測できる。	
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	・スポーツ推進委員の1名が初級パラスポーツ指導員の資格を取得した。取得に際し、堺市で3日間に渡って実施された資格認定のための研修会におけるテキスト代と交通費について市から補助を行った。 ・市内に指導員を増やすことで、パラスポーツの競技人口が増加した際に、それを指導することのできる環境を市として整備することができた。	・令和6年度の夏にパリパラリンピックが開催されることを受け、市民にもパラスポーツに対する意識や注目が集まることが想定される。その中で、競技者の増加・育成に加え、指導員の増加も視野に入れた取り組みを継続していく。	

スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・スポーツ少年団指導者講習の一環として、普通救命講習会を実施し、14人が参加した。 ・スポーツ少年団へ大会参加の補助金を通じて、活動を支援した。	・引き続き、指導者講習や補助金交付等により、各スポーツ団体の活動を支援していく。
市民活動支援事業 自治振興課	・市民活動支援講座として、「Instagram講座応用編」を開催し、6人が受講した。また、「インボイス制度セミナー」を開催し、10人が受講した。 ・地域課題解決等に取り組む4団体（前年度比-2団体）に市民公益活動補助金を交付した。 ・市内のNPO法人数は17団体（前年度比-2団体）であった。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。	・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・市民公益活動補助金について、審査委員から物価高騰の影響によって金額の合理性を再検討すべきではないかと意見が付されていることから、近隣他市の状況等の調査を行う。 ・今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援の在り方を検討する必要がある。
こども会育成事業 生涯学習課	・摂津市こども会親善スポーツ大会を開催し、ソフトボールの部6チーム（前年度比±0）、キックベースボールの部2チーム（前年度比-1）が参加し、各部の優勝・準優勝チーム計4チームが三島ブロックこども会親善スポーツ大会に出場した。 ・地域やこども会などで活動するリーダーを養成する「冒険プログラム」としてキャンプや野外炊飯体験を実施した。	・摂津市こども会親善スポーツ大会では、キックベースボールの部への参加チームが減少しており、その主な要因は、「摂津市こども会育成連絡協議会」からの脱会である。「摂津市こども会育成連絡協議会」では会議参加への負担軽減等の運営方法の見直しが行われているため、今後効果を検証していく必要がある。
生涯学習フェスティバル開催事業 生涯学習課	・「私たちにできる地球温暖化対策」をテーマに「生涯学習フェスティバル市民のつどい」を開催し、57人が参加した。 ・6年ぶりに大正川河川敷公園に会場を移して「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」を開催し、約500人が来場した。	・「摂津市生涯学習フェスティバル実行委員会」の参加団体が2団体減少しており、同実行委員会に新規団体を増やすことを働きかけていく必要がある。
せつつ生涯学習大学事業 生涯学習課	・せつつ生涯学習大学を全12回開催し、19人（前年度比+8人）が受講した。また、単発受講で計49人（前年度比+35人）が受講した。 ・せつつ生涯学習大学院を全3回開催し、4人（前年度比±0人）が受講した。	・引き続き、生涯学習リーダーやコーディネーターの養成、学習の機会の提供のため、せつつ生涯学習大学を開催する。 ・講座のテーマによっては、単発受講の申し込みが多いものもあったため、アンケートを踏まえ、受講者の増加に向けた講座を設定する。

中項目	3 企業連携、大学連携による文化スポーツ振興に関する環境整備・人材育成	分野計画参照ページ	P24
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	・7月に音楽連盟とルッツ南摂津からなる実行委員会により、ルッツ南摂津（ショッピングモール）でフロアコンサートを開催し、10団体（前年度比+3団体）が出演。チラシを見て集まって来た方や買い物客が鑑賞した。	・音楽連盟が主体となり、民間施設を利用した発表会を実施できた。今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引続き支援していくことが重要である。	

文化関係団体育成事業 文化スポーツ課	・各団体主催のイベント実施を支援し、参加者数は以下のとおりであった。 ■4月にコミュニティプラザで美術協会展を開催し、61人が出展した。来場者数は270人であった。（前年度は中止） ■4月に文化ホールでアンサンブルフェスティバルを開催し、13組（前年度比－1組）が出演した。来場者数は約300人（前年度比±0人）であった。 ■6月にコミュニティプラザで文化連盟祭を開催し、232人（前年度比+34人）が出場・出展した。来場者数は約800人（前年度比+80人）であった。 ■6月に安威川公民館でわがままコンサートを開催し、8組が出演した。来場者数は約200人であった。（前年度は中止） ■3月に文化ホールで市民合唱祭を開催し、16組（前年度比±0組）が出演した。来場者数は約180人（前年度比+50人）であった。	・コロナ禍が明け、左記のすべてのイベントを通常通り開催することができた。 ・集客についても少しづつコロナ前の状況に近づきつつあるが、引続き開催周知の促進が必要である。 ・今後も団体等が主体的に文化活動を推進することができるよう、引続き支援していくことが重要である。
スポーツ振興事業 文化スポーツ課	・9月17日に株式会社ガンバ主催による摂津市民応援デーが開催され、摂津市民871人が招待された。	・今後も企業等と連携していくことで、スポーツ振興を広げていく必要がある。

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	4 縦（世代間）・横（地域間）のネットワークの形成					
KPI (指標)	「直近1年間で文化・芸術の鑑賞や活動をした」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	22.7%(令和2年度)	34.7%	27.5%	38.6%	25.0%
KPI (指標)	文化スポーツ課所管団体の活動において、直近1年間で研修会等を実施した回数【★】					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	20回	18回	22回	29回	25回
KPI (指標)	「週1回以上運動・スポーツをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	39.8%(令和2年度)	37.6%	30.9%	41.0%	50.0%
KPI (指標)	「直近1年間で文化・スポーツ活動をした」と回答した児童生徒の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	84.0%(令和2年度)	91.0%	92.9%	92.5%	90.0%

中項目	1 縦（世代間）のネットワークの形成		分野計画参照ページ	P25
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
文化振興事業 文化スポーツ課	・大阪人間科学大学と連携し、学生によるイベントガイドのデザイン・構成を行った。		・カラフルな色彩やかわいいイラスト、表紙のセッピイのデジタルアート動画の視聴ができるQRコードの掲載など、大学生の若い感性でイベントガイドを手掛けたことで、手に取ってもらいやすく、興味を惹くイベントガイドを作成することができた。今後も大学等と連携し、文化振興に繋げることが必要である。 ・自治振興課のイベントナビとの住み分けを行う必要がある。 ・協賛団体の拡大等でイベントガイドの認知度を増し、文化振興に繋げる必要がある。 ・LoGoフォームによる簡易的な申請手段の提供等、手法をこらし1件でも多く募集情報の提供を呼び込む必要がある。	

老人福祉センター事業 高齢介護課	・291日開館し、入館者は延べ8,272人（前年度比+63人）であった。 ・せつつ桜苑及びふれあいの里でいきいきカレッジにおいて、既存のスマホの基礎講座のほか「自身が得たスマホの操作スキルを生かして他者のサポートをしたい」というニーズに対応した新たな専門科目を含め、計33コマの講義を実施した。受講者は以下のとおり。 ■せつつ桜苑：健康137コース85人、健康2ストレッチ89人、陶芸56人、音楽100人、美術120人、スマホ基礎144人、スマホ養成177人 延べ771人（前年度比+258人）うち、新規受講者：408人（前年度比+200人） ■ふれあいの里：ものづくり63人、体操180人、パソコンスマホ126人 延べ369人（前年度比-1人）うち、新規受講者：112人（前年度比±0人） ・受講要領を2会場と市役所だけでなく、公民館やコミュニティプラザ等の公共施設にも配架した。	・スマホサポーター養成講座のような地域活動の実践者を育成するという趣旨を踏まえた講座実施について検討する。 ・いきいきカレッジの受講者アンケートの結果も踏まえつつ、利用者のニーズに即した講座実施について検討する。 ・受講者の年齢階層は75歳以上が全体の半数以上を占めており、60歳代の受講者は1割以下となっている。受講前に体験できるオープンカレッジを引き続き実施し、60歳代の受講につなげる。
スポーツ推進委員活動事業 文化スポーツ課	・「年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめるスポーツ」として新しく考案されたニュースポーツ（ボッチャ、スティックリング等）の体験会・大会を実施し、世代を問わず、各年代が一緒になって楽しむことができる機会を提供することができた。	・参加年齢の割合が、若年層に比して高齢者の割合が大きくなっているため、若年層にニュースポーツの事業開催を周知する機会の創出を行っていく必要がある。
地区市民体育祭実施補助事業 文化スポーツ課	・9～11月に全11地区の内、7地区が各小学校を会場として開催し、延べ参加者数は4,270人であった。（前年度は全地区で中止）	・各地区への開催の可否の調査の際に「開催しない」または「検討中」とした場合の開催の支障となっている課題等があれば記入いただくよう様式を変更し、課題の把握に努めている。多くは、高齢化や実行委員のなり手がいないなどの理由である。理由について確認し、他地区の事例や市の貸出備品を含めた競技の紹介や助言などを行い、全地区での開催を目指して支援していく。

中項目	2 横（地域間）のネットワークの形成		分野計画参照ページ	P26
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察		
文化振興事業 文化スポーツ課	・12月に豊能町で開催した、摂津圏文化行政連絡協議会において、関係自治体からの議案をもとに、情報交換を行った。（13自治体が出席）	・今後も相互の自治体が抱える課題や情報を共有し、事例を参考にしながら、本市の文化施策の向上に努める。例えば、現在実施している、こども展覧会事業について、他市における開催の状況（運営方法、対象年齢、展示方法など）を知ることで、本市における事業の充実や改善につなげるものである。		
国際交流事業 自治振興課	・摂津市国際交流の各種事業や講座の支援を実施し、参加者等は以下のとおりであった。 ■国際交流協会創立30周年・JICA大阪5周年の共催記念事業 ごちゃまぜ祭 約150人 ■国際交流協会創立30周年記念事業 外国人が住みやすい街づくりをテーマとした基調講演及びパネルディスカッション57人 ■国際交流協会創立30周年 スポーツ交流団体「せつつブルーウィングス」とのコラボ事業 外国人健康増進事業 バトミントン2人 ラージボール卓球1人 ■日本語支援ボランティア養成講座121人 ■国際理解講座84人（前年度比-121人） ■JICA講演会18人 ■日本語学習者による発表会30人	・各種講座や講演会は外国人市民の有効な支援策であることから継続して実施していく必要がある。 ・国際理解講座は、海外経験の豊富な方の生の声を聞くことができ、異文化を理解できる貴重な場であることから引き続き実施していく。		

都市交流事業 自治振興課	・市外宿泊施設の利用について、9市町と提携し、延べ139人（前年度比+28人）の利用があった。	・令和6年度から、数年間実績がないことから、長野県阿南町との覚書締結を取りやめた。
-----------------	---	---

分野	教育	施策	文化・スポーツ	
分野計画名称	文化振興計画		行政経営戦略 参照ページ	P91

施策の展開（大項目）	5 文化・スポーツ活動を支える環境づくり					
KPI (指標)	市・指定管理者主催の文化イベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	19,081人	5,700人	13,052人	16,958人	22,000人
KPI (指標)	市・指定管理者主催のスポーツイベントの延べ参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	72,300人	51,248人	56,147人	79,783人	78,000人
KPI (指標)	歴史・文化財に係る講座参加者数（延べ人数）【★】					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	113人	49人	55人	31人	200人

中項目	1 市民の活動を支える施設の管理運営		分野計画参照ページ	P28
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
文化ホール管理事業 文化スポーツ課	・文化活動の拠点施設として、次の事業を実施した。（他にも単発の事業有） ■ちびっこ劇団「ひなどり」の発表会 観覧者：293人（前年度中止） ■落語会 観覧者：延べ497人（前年度比+106人）※前年度、単発の有名人の落語会もカウントしていたため人数変更有。 ■囲碁、将棋教室 参加者：延べ191人（前年度比+10人） ■囲碁、将棋大会 参加者：延べ109人（前年度比-12人） ■癒し絵教室 参加者：延べ47人（前年度比-20人） ■市民カラオケ大会 参加者：66人（前年度比+27人） ■老人同好会文化祭 参加者：72人（前年度比-25人）観覧者：493人（前年度比-245人） ■文化ホールバックヤードツアー参加者：30人（前年度比+9人） ・文化ホール利用状況（主に団体活動で使用するいきいきプラザ会議室を含む） - 利用件数：4,068件、利用者数：70,203人、稼働率35.5%（前年度比：+371件、+15,764人、+3.4%）		・老人同好会文化祭は文化ホール老人同好会の1年の成果を発表する場として開催している。同好会として活動する人数が減少していることに伴い、同文化祭に出る人数、それを見に来る人数も減少している。 ・市民を対象とした教室等の事業については、市民活動に役立つとともに魅力的な内容となるよう他市の事例等を参考とするなど内容の更新や見直しが必要。 ・コロナ禍が明け、活動を休止していた団体等が活動を再開しだしたことで、文化ホール（いきいきプラザ会議室を含む）の施設利用について、件数・人数・稼働率とも増加したが、立地条件などの割には稼働率はまだまだ低く、引き続き利用しやすい施設整備及び周知に努める必要がある。	

体育施設管理事業 文化スポーツ課	・開放デーとして金曜日の昼の時間帯に33回実施し、816人が参加した。 ・パーソナルトレーニングやインボディ体組成測定を実施し、個々人に寄り添った取組みを行った。 ・Instagramや公式LINEといったSNSを導入し、即時にイベントや施設案内を発信・拡散し、市民へ周知した。	・摂津市内ではスポーツシューズやウエアなどの物品販売をしている店が少ないことから、貸館利用者以外でも気軽に体育館へ足を運んでもらえるきっかけとなることから、スポーツでの利用へつなぎたいと考えている。 ・個人利用については、就学・就業中の方も参加しやすいよう、休日や夜間の枠にするなど検討していく。
温水プール管理事業 文化スポーツ課	・温水プールの利用者は次のとおりである。 ■大人：延べ19,949人（前年度比+1,243人） ■高齢者：延べ5,615人（前年度比+543人） ■障害者：延べ0人（前年度比±0人） ■子ども：延べ50,765人（前年度比+17,931人） ・学校の夏休み期間等に合わせて月曜日の休館日に無料開放を実施し、1,265人の利用があった。	・引き続き無料開放を行い、これまで利用されていない方などにも気軽にプールを利用してもらえるよう周知に努め、スポーツに親しむ機会を提供する。
体育施設維持管理事業 文化スポーツ課	・令和5年度に味生体育館、正雀体育館へのエアコン設置が完了し、全体育館第一体育室のエアコン設置が完了した。	・柳田テニスコートについては、照明灯を水銀灯からLEDに令和6年度に切り替えを行う。
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	・指定管理者が主体となり、市民や文化関係団体と「南千里丘夕涼み会」「2023南千里丘クリスマスバル」「ロビーコンサート」等のイベントを開催した。 ・広報紙や各施設のホームページに加え、SNSで市民活動団体のイベント情報を掲載した。	・南千里丘夕涼み会は平日から土曜日に開催曜日を変更したことで、コロナ前と比較して数倍の市民の来場があり、大変な賑わいがあった。開催日等、指定管理者と検討し今後も継続して実施する。
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	・「のびのびストレッチ～体のバランス～」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計43回（前年度比+7回）開催し、計4,833人（前年度比+1,790人）が参加した。 ・自治会と合同で防災訓練やイベントを実施した。 ・別府コミュニティセンターまつり開催し、初めての取組として、「走るデパ地下、お菓子の移動販売車」を招致した。	・講座参加者に対するアンケート結果を元に、満足度が高いと判断し、例年同様の講座を実施しているが、稼働率の向上を図るため新たな講座を企画することを検討する。 ・講座参加者の増加の要因は、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、人の動きが活発になったためと分析する。 ・別府コミュニティセンターまつりの「走るデパ地下、お菓子の移動販売車」など新たな取組は継続して取り入れていく必要がある。 ・ホームページは開設しているが、SNSを活用できていないことから、活用を促す必要がある。
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	・「ましたの楽市」や「たそがれコンサート」に参画した。たそがれコンサートにおいては、正雀市民ルームがミニコンサート会場になるなど、指定管理者職員が運営に携わった。 ・「ハッピーヨーガ教室」等、7講座（前年度比+2講座）を開催し、延べ1,458人（前年度比+310人）が参加した。 ・旧市民サービスコーナーのスペースに、高齢者が手作りした雑貨やこどもが描いた絵を窓際に飾ることで、集客のきっかけづくりを行った。	・稼働率の低い貸室（調理室）の活用及び若年齢層の利用促進を図る。親子で参加できる料理教室のような自主事業の企画を指定管理者と協力して取り組む。 ・たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設をPRしていく。
公民館管理事業 生涯学習課	・定期的な施設点検及び不具合箇所の修繕を実施した。 ・貸室利用後は清掃や備品の確認を行い、安全安心な施設運営に努めた。	・公民館施設において事故等もなく、安全安心な施設運営ができていたと考えられる。 ・引き続き、安全安心な公民館施設の環境づくりを進める。

中項目	2 地域に根付く文化・スポーツ資源の保存と活用	分野計画参照ページ	P30
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
摂津市史編さん事業 生涯学習課	・歴史資料の収集・整理・保存を実施し、累計43,000点の保存を終えた。 ・コミュニティプラザで市史刊行記念講演会を開催し、65人が参加した。 ・令和6年度刊行に向け『新修摂津市史 現代・民俗編』第3巻の執筆作業を進めた。	・保存した資料を適正に管理するため、引き続き整理作業を進める。 ・市の各種計画や起案された文書のうち、歴史資料として保存すべき文書を選別・収集し、保存する仕組みを検討する必要がある。	
文化財保護事業 生涯学習課	・市内文化財保護のため、味舌天満宮摂社八幡神社本殿（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付した。 ・JR千里丘駅西口再開発に伴う発掘調査を実施した。 ・開発に先立つ試掘・立会調査を6件（前年度比-3件）実施した。 ・摂津市の歴史を後世に伝えるため、コミュニティプラザで「ふるさと摂津講座」を開催し、31人（前年度比-24人）が参加した。	・味舌天満宮本殿（府指定文化財）修繕にかかる補助金を交付する。 ・旧一津屋公会堂（市指定有形文化財）の建物の現状を把握するため、耐久性等の調査を実施する。 ・文化財関連資料の収蔵・整理・保存を進め活用を図る。 ・「ふるさと摂津講座」の参加者が減少しているため、講座以外に歴史に関するフィールドワークを取り入れるなど、講師である「ふるさと摂津案内人」と連携し、講座内容を検討する。	
摂津ふれあいマラソン大会事業 文化スポーツ課	・淀川河川敷（鳥飼西地区～鳥飼下地区）をマラソン大会コースとして使用した。	・参加者にとって安心・安全なコースを提供できており、今後も河川敷を活用したコース設定を行う予定である。	